

○ CCRCとは？

Continuing Care Retirement Communityの略語です。

高齢者が健康な時から介護時まで移転することなく、安心して暮らし続けることが出来る共同施設・地域を指します。米国では約2千ヵ所、約75万人の居住者、約3兆円の市場規模があります。

○ 日本版CCRCから「生涯活躍のまち」へ

わが国では首都圏の人口過密及び高齢者福祉対策として、医療・介護保険制度の完備したわが国と米国との違いを考慮し、内閣府が日本版CCRC構想有識者会議を設立・検討しました。

その結果、これまでの高齢者施設と異なる、すべての世代の人々が移住後も地域活動や仕事を続けられる多世代交流型の「生涯活躍のまち」構想をまとめました。

現在、その構想に沿ってまちづくりを行う意向を示した地方自治体は約300近くあります。

○ <われわれの研究会の目指すCCRCは!!>

社会の第一線を退いた高齢者が共に暮らし、地域住民と交流しつつ、孤立することなく、適切な健康管理をしながら健康寿命を延ばし、仕事や余暇を楽しみながら生活できる地域社会をわれわれの手で実現します。 (Countryside & City Reconstruct Community)

若い世代の人々には首都直下型地震など災害に備えた避難場所として使え、平時には海や山など非日常空間を楽しむ二地域居住地域を目指します。

日本版CCRCと「生涯活躍のまち」とは？

- 平成27年2月、政府は首都圏における高齢者の増加と不足する医療介護施設の現状をふまえ、日本版CCRC構想有識者会議を立ち上げました。首都圏（一都三県）の急増する高齢者が介護難民とならないよう、比較的医療・介護環境に余裕のある地方都市への移住を奨める趣旨で立ち上げたものです。
CCRCとは米国の「Continuing Care Retirement Community」が語源であり、日本と米国の介護保険制度の違いを考慮した「日本版CCRC」と呼んでいます。
- 平成27年12月、日本版CCRC構想推進会議は報告書をまとめ、その中でこれまで用いた「日本版CCRC」より「生涯活躍のまち」の方がふさわしいと変更しました。「生涯活躍のまち」とは、
「**社会の第一線を退いた高齢者が共に暮らし、地域住民と交流しつつ、孤立することなく、適切な健康管理をしながら健康寿命を延ばし、仕事や余暇を楽しみながら生活できる地域社会**」です。
- 政府は平成28年4月地域再生法の一部を改正する法律を成立させ、「生涯活躍のまち」づくりを地方創生推進交付金及び生涯活躍のまち形成事業を制度化した。
- 政府は平成28年11~12月に全国地方公共団体の「生涯活躍のまち」に関する意向等調査結果（速報）をとりまとめた。
 - ・ 取組の推進意向がある地方公共団体：236団体
 - ・ 既に取り組を開始している団体：71団体

シニア土木・建築技術者の提案する「南房総CCRCと地方創生」の研究・実践を目指す研究会がフェーズ1からフェーズ2段階への移行にあたって

課 題

- 活動を資金的に援助してくれる企業等団体を求める
- 南房総地域に地縁のある、またはCCRCに興味のあるサポーターを求める
- 南房総地域で活動の拠点を確保したい